

(1) 前回指摘事項について

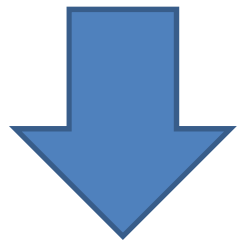
## 「広域施設(破碎選別施設・焼却施設)設置場所」に関する検討

### 評価の手順

今回の施設整備に伴う検討(評価)の手順は下記のとおり。

#### 【1 破碎選別施設】

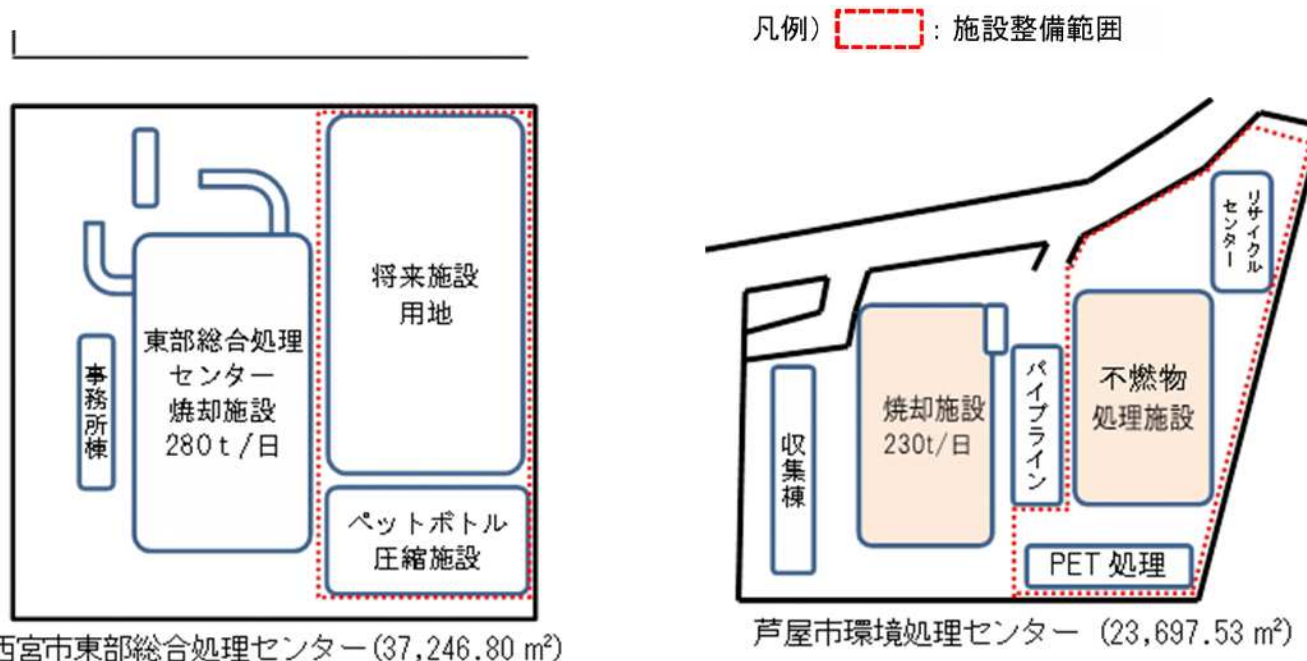
- ・西宮市東部総合処理センター
- ・芦屋市環境処理センター



#### 【2 焼却施設】

- ・西宮市西部総合処理センター
- ・芦屋市環境処理センター

# 1 「広域施設(破碎選別施設)設置場所」に関する検討



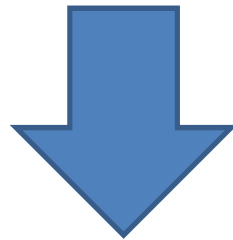
西宮市東部総合処理センター	芦屋市環境処理センター
整備計画(単独): 破碎選別施設 施設整備範囲: 敷地東側 約10,700m <sup>2</sup>	整備計画(単独): 焼却施設、資源化施設 施設整備範囲: 敷地東側 約11,000m <sup>2</sup>
※別途、資機材仮置場等スペースあり	※資機材仮置場等スペースなし

## 敷地(場所)の評価

	西宮市東部総合処理センター	芦屋市環境処理センター(東側)
①敷地面積 (施設整備範囲)	○ 約10,700㎡ ※別途、資機材仮置場等スペースあり	○ 約11,000㎡ ※資機材仮置場等スペースなし
②敷地の 形状	○ 長方形状(南西-北東方向を長辺)	○ 南北にやや細長く、南北側で狭まった形状
工夫次第で敷地の形状に合わせた対応(整備)が可能		
③整備に伴 う条件	○ ・既存施設(既存ペットボトル圧縮 施設)の稼働を伴った施設整備	△ ・不燃ごみ等の外部の委託先の確保が必要 ・処理委託費(約3.8億円/3.5年間)が発生 ・仮設積替施設の敷地の確保と整備費用 (約1億円)が発生
評 価	○ ・コスト面で有利	△ ・委託先の確保に課題が残る ・コスト面で不利

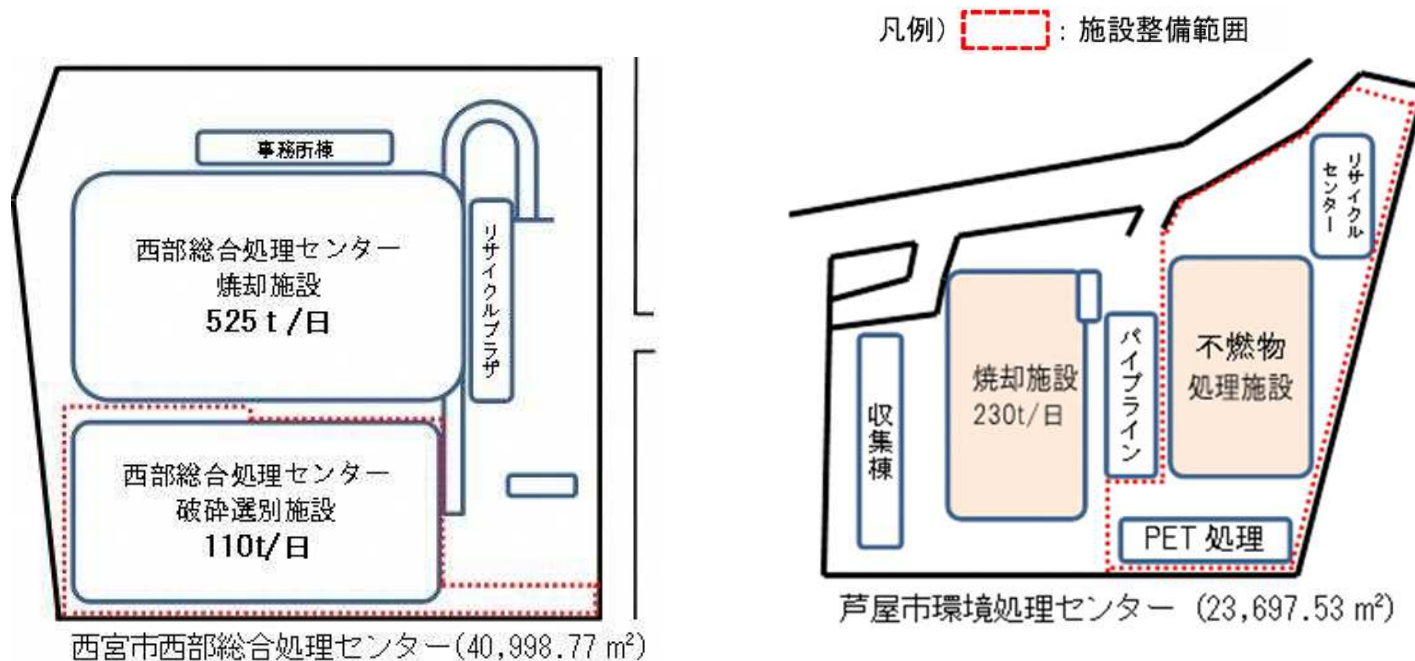
○:特に課題が存在しない、コスト面で有利      △:課題が存在する、コスト面で不利

- ・芦屋市環境処理センターにおける施設整備については、外部委託等に関する課題が存在する。
- ・芦屋市環境処理センターに設置した場合、コスト面において広域化に伴う両市のメリットを減少させ、非合理的であり、適切でない。



評価の結果、**西宮市東部総合処理センター**での整備が適切である。

## 2 「広域施設(焼却施設)設置場所」に関する検討



西宮市西部総合処理センター	芦屋市環境処理センター
整備計画(単独): 焼却施設 施設整備範囲: 敷地南側 約10,300m <sup>2</sup>	整備計画(単独): 焼却施設、資源化施設 施設整備範囲: 敷地東側 約11,000m <sup>2</sup>
※別途、資機材仮置場等スペースあり	※資機材仮置場等スペースなし

## 敷地(場所)の評価

	西宮市西部総合処理センター	芦屋市環境処理センター(東側)
①敷地面積 (施設整備範囲)	○ 約10,300㎡ ※別途、資機材仮置場等スペースあり	○ 約11,000㎡ ※資機材仮置場等スペースなし
②敷地の 形状	○ 長方形(東-西方向を長辺)であり、施設配置に関して優位	△ 南北にやや細長く、南北側で狭まった形状のため、施設配置への影響が懸念される
③整備に伴 う条件	○ 既存施設の解体が必要(解体期間中の不燃ごみ処理に影響なし)	△ ・建設費の増額(最大で約85億円)の可能性及び運用面の課題が存在
評 価	○ ・運用面において優位	△ ・コスト面で不利(建設費の増額の可能性) ・運用面の課題が存在

○:特に課題が存在しない、コスト面で有利      △:課題が存在する、コスト面で不利

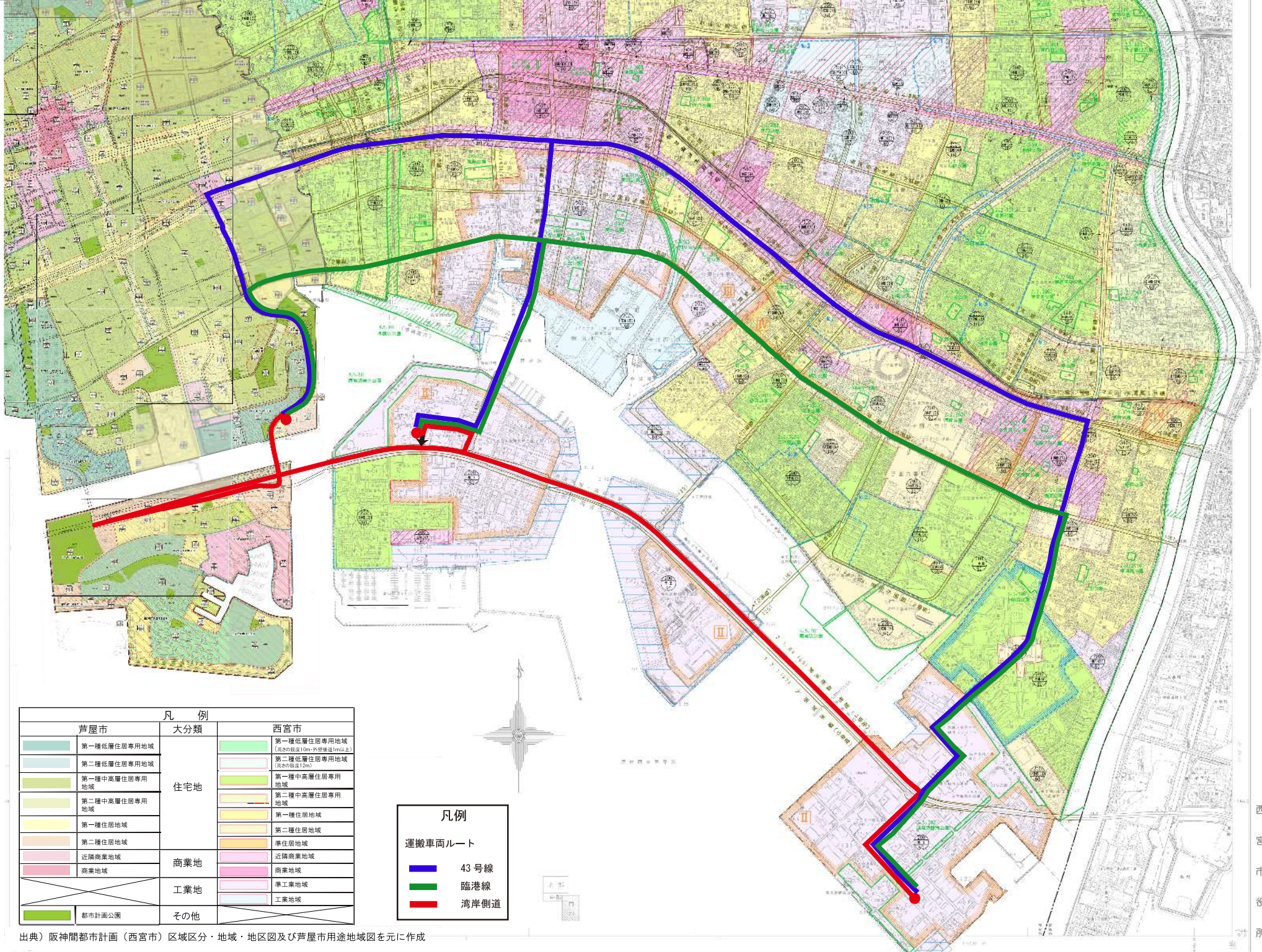
## 敷地（場所）に関するメーカーの見解

事業費 (優位性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西宮市西部総合処理センター優位(3社)</li> <li>・両市同等(2社)・・・【補足】付属棟スペース(計量棟、洗車場など)や外周道路スペースの確保に大きな課題が残る。</li> <li>・芦屋市環境処理センター(敷地東側)において整備は不可能(1社)</li> </ul>
事業費(増額分)の見込み	<p>芦屋市環境処理センター(敷地東側)において整備した場合の増額(3社)</p> <p>①約3割程度(約85億円)、②約2～3割(約55～85億円)、③約2～3%程度(約6～8億円)</p>
メーカー見解 (増額理由)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資機材仮置場や仮設事務所設置用スペースの確保に関する費用</li> <li>・施工条件を満足させるための特殊な施工方法や荷揚げ重機(タワークレーン等)の採用に関する費用</li> <li>・工事上のアクセスが1方向に限られることにより、工事が長期化することによる仮設費や人件費</li> <li>・建築工事や機器組立工事で効率的な施工が困難なことによる費用(整備範囲の両脇(東・西側)に大型重機を設置できないため)</li> </ul>
その他 (運用面の課題)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メンテナンス・用役車、灰搬出車の動線が錯綜し、かつ周回道路が狭いため、使い勝手に課題が残る。</li> <li>・ランプウェイの設置を範囲外に検討する必要がある。</li> <li>・付属棟スペース(計量棟、洗車場など)の確保について検討が必要</li> <li>・外周道路スペースや一般来場者の専用動線の確保について検討が必要</li> <li>・工事中、既設工場へのごみ搬入車両と動線が交錯するため、交通整理が必要</li> <li>・敷地東西方向の幅が狭いことから、工場周回道路の確保が困難 等</li> </ul>

- ・西宮市西部総合処理センターにおける施設整備は運用面において優位
- ・芦屋市環境処理センターに設置した場合、建設費の増額の可能性及び運用面の課題が存在する。



評価の結果、**西宮市西部総合処理センター**での整備が適切である。



凡例		
芦屋市	大分類	西宮市
	住宅地	
	商業地	
	工業地	
	その他	

凡例	
運搬車両ルート	
	43号線
	臨港線
	湾岸側道

出典) 阪神間都市計画(西宮市)区域区分・地域・地区図及び芦屋市用途地域図を元に作成